

平成30年度 議会報告会

意見交換概要 テーマ「防災について」

平成30年11月3日(土) 午後の部

項目	要 旨
自主防災組織	自治会を抜ける人が多い中、新たに役員を決めて自主防災組織を設立することは困難である。他の地区では、どのように設立しているのか知りたい。
	地域によっては、自治会役員が兼務して自主防災組織を設立しているところが多いのでは。自治会の集まりの際に、訓練を行うこともできる。
	自主防災組織の設立時に、住民に自衛隊OBの方がおり、その方が中心となって設立した経緯があるので、例えば、未組織の地域にそういった方をアドバイザーとして派遣するなど、設立に向けた支援があればいいと思う。
	地元の自治組織に加入してもらえず、防災組織もない状況である。自主防災組織の設立支援をしてほしい。
	毎年災害が起きています中、自主防災組織や避難所運営委員会の設立とその役目は重要。9月に発生した北海道地震では、2か月間避難所で過ごし、最近仮設住宅へ入居したとの報道があった。「共助」の重要性を改めて感じた。
避難所・ 避難所運営委員会	避難所運営委員会が設立されたが、地区の自治会全てが加入していない。市から自治会へ働きかけをお願いしたい。
	地域に若い人が居ないため、避難所まで高齢者を連れていくのが大変である。
	避難所運営委員会は予算・補助金がないため、印刷や消耗品などは持ち出しとなっている。避難所運営委員会への補助金の交付を検討してほしい。
	避難所について、視覚障がい者や聴覚障がい者などに対応した設備としてもらいたい。
	ホームレスの方も避難所が利用できるということを周知してもらいたい。
防災行政無線	大雨や暴風の時には防災行政無線の音は聞こえない。何から情報を得て行動すればいいのか。 →(回答)メール配信サービスや防災行政無線テレホンサービスがあります。
	暴風雨の時は聞こえないので、防災ラジオを普及させてほしい。市原市は、希望者へ安く提供している。
	防災行政無線について、警察と連携した利用をもっと行うべきだと思う。

その他	小学生が通学途中や留守番中などで災害が発生した場合の行動を、市から学校などを通して子どもたちへ伝えてほしい。
	黄色いハンカチ作戦(自宅玄関先に救助などの必要がないことを黄色いハンカチを掲げる)が有効だと思う。
	東京都では、災害時の給水拠点を補完するため、消火栓からスタンドパイプを使用して行う応急給水を実施している。こういった取り組みを成田市にも取り入れた方が良いと思う。
	自治会が組織されていない。アパートも多く、学生が増えている。もし災害が起きた時、共助の点で不安である。
	防災について、外国人の住民にも周知してほしい。
	災害時の停電が復旧した際に起きる通電火災について、それを防ぐ設備(感電ブレーカー)があるが、それを安く購入できるような斡旋などがあつたらいい。